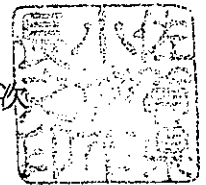




小 防 第 239号
平成29年2月28日

原発なくそう！九州玄海訴訟原告団
団 長 長谷川 照 様
原 告 船 津 毅 様
原発なくそう！九州玄海訴訟弁護団
弁 護 士 東 島 浩 幸 様

小城市長 江里口 秀 次



玄海原発再稼動に関する要望事項に対する回答について

平成29年2月7日付けで提出がありました要望事項について、別紙のとおり回答
します。

1 佐賀県知事へのお願い、要望について

山口知事に玄海原発の再稼働に同意しないようお願いしてください。
また、小城市で「玄海原発再稼働についての市民説明会」を開催できるように県に要請してください。その際、一方的な説明ではなく、市民の質問に回答することも要請してください

【回答】

玄海原発の再稼働の判断については、国・事業者の責任で行われるものと考えています。

玄海原発再稼働に関する県民説明会については、佐賀県が主催し、県内5会場で行われており、当市での開催は考えておりません。

2 小城市独自で、以下の取り組みをお願いします。

(1) 福島原発事故でどういうことが起こったのかを、原発から30キロ以上離れているのに現在も全村避難が続いている飯館村や原発事故が出たために津波被災者の救護活動を断念せざるを得なかった浪江町等を視察・調査して小城市の原子力災害について考えてください。

【回答】

被災地の視察・調査については、今後、検討します。

(2) 九州電力に小城市で住民説明会を開くように要請してください。
「玄海原発で重大事故が起こった場合、小城市が放射能で汚染される可能性があるのかないのか」、また、「小城市が汚染された場合、九電は除染や補償をどう考えているのか」等の問題が小城市民に明らかにされる必要があります。

【回答】

玄海原発再稼働に関する県民説明会については、佐賀県が主催し、九州電力も参加し、県内5会場で行われており、当市での開催は考えておりません。

なお、九州電力では地域とのコミュニケーションの充実を図るため、小城市の各行政区区長との対話活動を行うなどの取り組みを行われています。

(3) 規制委員会も30キロ圏外でも放射能に汚染される可能性があることを認めています(注)し、小城市地域防災計画第4編原子力災害対策編第1節第2項の1に「不測の事態が発生した場合であっても対処し得るような体制を整備する」とありますので、小城市が汚染されることを想定して次の①、②を検討してください。

① 屋内退避は可能かどうか

(地震で家屋等が損傷した場合や断水、停電、流通が止まった場合、福祉サービスや医療等の提供が困難な場合、また玄海町、唐津市からの避難者と地震で家屋が損壊した小城市民の避難施設が競合して不足する場合)

② 要援護者(在宅、入院患者、福祉施設入居者等)の避難は可能か
(名簿の作成、搬送手段、受け入れ先等)

(注) 規制委員会は審査に合格しても福島原発のような事故が起こる可能性はあるとしています。(平成26年5月28日原子力規制委員会『緊急時の被曝線量及び防護措置の効果の試算について』1趣旨・目的「なお、本試算はこれ以上の規模の事故が起こらないことを意味しているものではない」)

【回答】

- ① そのような事態が発生した場合には、対応する優先順位を考えてその都度判断します。なお、市内の避難施設が競合する場合には、小城市民を優先して受け入れることになると思います。
- ② 要援護者についても、国・県の指示のもとに避難することになると考えます。

(4) 事故時に避難したい妊婦や乳幼児、子どもの一次避難先を市内で最も原発から離れている芦刈町に確保して、周知してください。

【回答】

事故時に避難するような状況になった場合は、市内の適切な場所を避難所にするということになると考えています。

(5) 安定ヨウ素剤を(特に妊婦と子どもに)配布して必要性を周知してください(30キロ圏外で6割の子どもにすでに配布されている兵庫県篠山市を小城市は視察・調査してください。また、地震等で家屋が損壊した場合は、放射能の雲が来る前に服用が必要と思われます。報道によるとベルギーは国内の全住民1100万人に安定ヨウ素剤を提供するようです。)

【回答】

安定ヨウ素剤については、県において備蓄されており、また、使用にあたっては、副作用の可能性が示されています。安定ヨウ素剤については、専門的知見を有する、国や原子力規制委員会が示している指針等の考え方に基づきたいと考えています。

(6) スクリーニング（放射能汚染の検査と除染）の場所について、小城市内に汚染車両等がそのまま入らないように検査と除染は唐津市と小城市の境界で行い、特に子どもたちが使う学校等は避けてください。

【回答】

県地域防災計画では、スクリーニングの実施場所として、多久市陸上競技場が予定されています。

(7) 原発事故が起こった場合に備えて、小城市民はどうやって家族や財産を守ったら良いのかという情報を、できるだけ早く市民に提供してください。

【回答】

県発行の「原子力防災のてびき」を全世帯配布している（H29.3）が、その他にも情報提供を図ります。

(8) 各校区で（事故が起こったときにパニックにならないために）避難訓練や原子力防災研修会（例、篠山市）を行って市民の意識を高めるとともに、小城市として何が問題かを把握してください。

【回答】

避難訓練や原子力防災研修会については、今後、検討します。

(9) モニタリングポストを市役所と旧庁舎跡に設置して常時データを公開してください。事故時に停電等で小城市の対策本部が小城市内の放射能汚染状況を把握できない可能性があるため、市役所や旧庁舎跡で測定できれば的確な判断ができます。また、市民も通常の放射線量を知っておくことで、災害時の冷静な判断につながります。すでに公開されている市町もあります。

【回答】

佐賀県から貸与された可搬型モニタリングポストについては、庁舎西館の玄関に設置し、常時、数値を表示しており、旧庁舎跡への設置は考えていません。

停電時は、可搬型モニタリングポストにあらかじめ搭載されている非常用バッテリーから電源を供給することになっており、計測に問題はないと考えています。

なお、県のホームページでは、玄海原発から30キロ圏内に設置しているモニタリングポストの測定結果をリアルタイムで表示されています。

- (10) 玄海原発を止めれば、小城市の企業や農林水産業、市民生活等へ影響があるとの意見がありますが、原発を動かさないとしたらどのような影響があるかを調べてください。

【回答】

小城市では、玄海原発の再稼働あるいは停止を想定した、企業や農林水産業、市民生活への影響については、把握していません。今後も調査は考えていません。

- (11) 小城市長は、「原発に頼らず電力の供給をやるべき、原発反対」との考えから、再稼働について「条件付き賛成」に変わられたと報道（2017年1月11日毎日新聞）されています。

私たちは、再稼働すれば、いつ重大事故が起こるかわかりませんので、市長には再稼働に反対していただきたいと考えておりますが、どのようにお考えなのでしょうか。

【回答】

玄海原発はあらゆる自然災害を想定した安全対策をとっています（現場視察済み）。ただし、広域避難経路の想定等不安感もあり条件付き賛成の立場であります。原発再稼働に反対しているわけではなく、新エネルギー政策（コンバインドサイクル火力発電）で脱原発を目指すべきと考えています。

- (12) 小城市に熊本のような地震と原発事故が重なった場合、小城市民は屋内退避や避難が無事にできるかという問題について、小城市の見解をお聞かせください。

【回答】

万が一、そのような事態が発生した場合には、対応する優先順位を考えてその都度判断します。仮に小城市への汚染の可能性がある場合は、国や県の指示のもと、市外への避難を行うこととなると考えています。

(13) 小城市には再生可能エネルギーの資源はたくさんあるのではないのでしょうか。小城市は「地域エネルギー政策」を早急に策定してください。原発に変わる再生可能エネルギー創出のため、工場誘致などで雇用創出、地域活性化にも結び付くと思います。

【回答】

エネルギー政策についての制度整備や方針検討については、国主導で行われるべきものと考えており、当市での「地域エネルギー政策」策定は考えておりません。